

別表（第 13 条関係）

リスク分担

リスクの種類	リスクの内容	甲	乙
法制度・法令変更リスク	下水熱利用事業に影響を与える法制度・法令等の変更により追加の費用が発生したり、何らかの対応が求められるリスク	○	○
許認可リスク	下水熱利用事業の実施に当たり、取得すべき許認可が得られず、事業開始が遅延するリスク ・下水熱利用事業実施に必要となる下水道法、都市再生特別措置法、低炭素まちづくり法、道路法、熱供給事業法に係る許認可が得られないケース等		○
税制変更リスク	法人税や消費税、その他の税に係る制度の変更によって、経費の支払額が増加するリスク		○
政治リスク	下水熱利用事業に影響を与える政策の変更リスク		○
住民対応リスク	下水熱利用事業に対する住民反対運動・訴訟・要望等が発生し、対応が求められるリスク		○
環境問題リスク	設計、建設、維持管理・運営等における汚染物質の排出・漏洩等のリスク		○
第三者賠償リスク	下水熱利用設備の瑕疵や施設の劣化、維持管理の不備、その他の事由により、第三者に損害を与えるリスク		○
物価変動リスク	下水熱利用事業期間中のインフレ、デフレ等による物価変動リスク	○	○
金利リスク	下水熱利用事業期間中の金利変動リスク	○	○
資金調達リスク	初期投資及び更新投資に係る資金調達に関するリスク		○
事業の中止・延期リスク	長野県における下水熱利用事業への施策方針の変更、その他の事由により、下水熱利用事業が中止・延期となるリスク		○
事業破綻リスク	経営悪化等によるエネルギーサービス事業者の倒産により下水熱利用事業が破綻するリスク		○
民間事業者債務不履行リスク	エネルギーサービス事業者の下水熱利用事業の放棄、サービス水準の低下、業務の重大な違反等のリスク		○
公共債務不履行リスク	流域下水道管理者がエネルギーサービス事業者に対して負う債務の不履行とするリスク	○	

リスクの種類	リスクの内容	甲	乙
不可抗力リスク	天災等、予見が困難な自然的又は人為的現象が発生し下水熱利用事業が中断するリスク ・地震等の大規模災害により下水管渠や下水熱利用設備が損傷するケース ・下水流量・水温の変化により、想定どおりの熱源供給又は熱供給が行えなくなるケース等		○
測量・調査リスク	現場での測量・調査等が必要となるリスク及び測量・調査の誤りにより、損害や追加費用が発生するリスク		○
設計変更リスク	流域下水道管理者の提示条件、指示及び判断の不備・変更又はエネルギーサービス事業者又は熱利用者の判断の不備により、設計変更が生じるリスク	○	○
設計変更リスク（計画・設計段階）	上位の全体計画の変更に伴い、下水熱利用事業条件に変更が生じ、追加費用が発生するリスク ・下水道計画や開発計画等の変更により、下水熱利用事業において追加的な設備が必要となるケース等		○
設計完了遅延リスク	流域下水道管理者、エネルギーサービス事業者の計画変更等により、設計期間が延長するリスク		○
設計費用増大リスク	流域下水道管理者、エネルギーサービス事業者の計画変更等により、設計費が増大するリスク		○
設計の成果物の瑕疵リスク	下水熱利用設備の新設又は更新に関する瑕疵リスク		○
工事完成遅延リスク	流域下水道管理者の指示や意向による設計変更、エネルギーサービス事業者の不適切な工程管理等により、工事の完成が遅延するリスク		○
工事費用増大リスク	流域下水道管理者の指示や意向による設計変更、エネルギーサービス事業者の不適切な工程管理等により、工事費が増大するリスク		○
工事施工リスク	工事の施工に関連して管渠、熱回収設備等に損害を与えるリスク		○
計画変更リスク（維持管理・運営段階）	流域下水道管理者、エネルギーサービス事業者の意向による、下水熱利用事業の内容・用途の変更により、追加費用が発生するリスク		○

リスクの種類	リスクの内容	甲	乙
運営開始の遅延リスク	流域下水道管理者の指示や意向、エネルギーサービス事業者の運営準備の遅延、関係者間での調整等により、運営開始時期が遅延することで損害や追加費用が発生するリスク		○
性能リスク（維持管理・運営段階）	維持管理に不備があり、契約条件に満たないリスク ・熱回収設備等が適切に維持管理なされていないために、夾雑物等の汚れが付着し、性能が低下するケース等		○
施設瑕疵リスク	新設又は更新する設備及び既存設備の瑕疵に係るリスク ・新設した下水熱利用設備の瑕疵により稼働できないケース等		○
維持管理費用増大リスク	流域下水道管理者の指示や意向その他想定外の事由等により、維持管理費用が増大するリスク ・想定以上に夾雑物が多く、汚れの付着を防ぐために追加的な費用が必要となるケース等		○
施設・備品の損傷リスク	流入汚水の水質等に起因する設備・備品の損傷リスク		○
需要変動リスク	当初想定された熱利用者の離脱等により、収入が減少するリスク		○
料金設定リスク	料金水準の改定が認められない、熱利用者からの値下げ要求がなされる等の理由により当初想定よりも収入が減少するリスク ※熱利用者がエネルギーサービス事業者へ支払う料金、エネルギーサービス事業者が流域下水道管理者に支払う料金		○
料金未払いリスク	料金滞納によって、本来得られるべき収入が得られないリスク ※熱利用者がエネルギーサービス事業者へ支払う料金、エネルギーサービス事業者が流域下水道管理者に支払う料金		○

リスクの種類	リスクの内容	甲	乙
維持管理・運営の中断 リスク	流域下水道管理者の事由により、熱源供給ができなくなるリスク 管渠更新、更生工事等 エネルギーサービス事業者の事由により、熱供給ができなくなるリスク		○
技術革新リスク	技術革新により、当該技術の技術力が低下するリスク		○
利用者対応リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・熱利用者からエネルギーサービス事業者に対して熱供給に係る苦情が発生するリスク ・エネルギーサービス事業者から下水道管理者に対して熱源供給に係る苦情が発生するリスク 	○	○
移管手続リスク	下水熱利用事業の終了手続や精算手続きにおいて、追加費用が発生するリスク <ul style="list-style-type: none"> ・承認工事や管更正と同時施工する熱回収技術等において追加費用が発生するケース等 		○

甲の欄に丸印があるリスクは甲の負担、乙の欄に丸印があるリスクは乙の負担とする。
 甲乙両方の欄に丸印があるリスクは、協議の上、定める。